

# 懐かしい日本統治—サイパンからの声—

## Voices from Saipan: How Japan Can Help Revitalize the Island

山地沙季、久保田優稀、廣島克哉、真野英恵、池田和陽、小代有希子

Saki Yamaji, Yuki Kubota, Katsuya Hiroshima, Hanae Mano, Kazuaki Ikeda, Yukiko Koshiro

日本大学 国際関係学部 国際交流学科

### はじめに

北マリアナ諸島の一つサイパン島は、16世紀以来スペイン・ドイツ・日本の統治を受けてきたが、太平洋戦争後アメリカ合衆国の領土となった。日米統治の両方を経験しているサイパンのお年寄りには、日本統治時代を懐かしむ人が少なくない。日本の植民地統治には負のイメージがあるのでこれは意外だ。彼らは何を懐かしんでいるのだろうか。私たちのゼミが毎年行っているサイパン研修から学んだ彼らの声、サイパンの現状、そして今後日本がサイパンとの友好のために出来ることのヒントを紹介する。

### 1. サイパンにおける日本統治とアメリカ統治

日本は第一次世界大戦後ベルサイユ講和条約に基づいてマイクロネシアを委任統治した。南洋庁は施政の一環として製糖業を中心とした地域開発を推進し、サイパンは「南洋の東京」として経済・社会的発展を遂げた。日本の教育も導入され、住民は算数・国語(日本語)・修身・職業訓練を学んだ。

第二次世界大戦後、米国がサイパンを含むマイクロネシアを統治するようになると、「脱日本化教育」が始まった。一方で冷戦時代の米国は、マイクロネシアの軍事基地・戦略的価値を重視するばかりで、日米戦争で壊滅した農業・経済の復興は全く行わず、教育文化政策も疎かにした。

観光業は島の経済を支えてきたが、日本人客は減少の一方。中国人労働に依存した縫製工場は閉鎖。食糧自給もできず住民は米国政府の福祉・徴兵政策に頼らざるを得ない。

「リゾート・アイランド」は経済破綻寸前の危機的状況を迎えている事を 日本人もアメリカ人も知らない。



### 北マリアナ諸島基本データ

面積—477km<sup>2</sup>(世界230位) うち サイパン 122km<sup>2</sup>  
人口—86,616人(世界198位) うち サイパン 58,000人

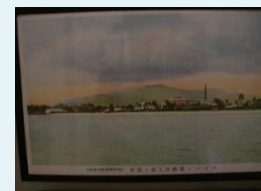
公用語—英語、チャモロ語、カロリン語



世界194カ国GDPランキング (2008年)		US\$ (百万)
1位	米国	13.8
2位	中国	7.8
3位	日本	4.5
14位	韓国	1.3
90位	北朝鮮	0.04
181位	北マリアナ諸島	0.001



日本統治時代の製糖工場



海からみる工場



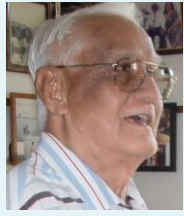
今はないさとうきび畑

## 2. 日米統治時代を生き残ったサイパンの人々の声



### エスコラスティカ・カブレラ氏

戦後初の女性議員。現在レストランを経営。日本の童謡・唱歌を今でも覚えている。「戦前のサイパンは緑豊かで農作物も豊富。差別もあったが生活は豊かだった」と語る。



### マニー・ビラゴメス氏

戦後アメリカと協力してビジネスで成功した同氏は、アメリカ統治下の「民主化」に賛成する一方、日本統治時代サイパン経済が発展したのは事実と言う。好きな日本語は「成せばなる 成さねばならぬ 何事も。」



### デービッド・サブラン氏

ビジネス界のリーダーである同氏は日本統治時代に通った公学校を懐かしむ。「アメリカはサイパンを援助漬けにしかただが、日本時代の教育は私に自活して生きる方法を教えた」と日本語で語る。



## 3. テニアン市長の提案

### ラモン・デ・ラ・クルス氏



サイパンに隣接するテニアン島の2/3は戦後米軍が保有して一般人立ち入り禁止地区となり、未だ荒地のまま放置されている。ここに沖縄の米軍基地を誘致することで、島全体のインフラ整備と島民の就労問題を解決させたい。私たちの海は世界有数の透明度を誇るが、基地による環境汚染の心配は二の次。沖縄のように観光と基地が共存できる島にして、多くの日本人観光客がやってくることを期待したい。

テニアン市長は親日家で、島に残る日本統治時代の遺跡は米軍基地が移転してきても大切に保存したいと語る。そしてチャモロの先祖たちが生まれ育ったこの島が、広島と長崎に原爆を落としたB-29機の発進基地になったことに道義的責任を感じるともいう。だから沖縄で問題になっている米軍基地をテニアンに移転させることで、日本の友人を助けることになり、広島と長崎の罪も詫びることができるのだ、と語った。

## 4. サイパンとの友好のために日本ができること

私たちはまず、サイパンの現状とサイパンの人々が望む今後のあり方を多くの人に知ってもらいたい。サブラン氏は「サイパンの復興には再び日本の協力が必要」と力説する。戦前からの密接な関係を考えるとそれはとても大切だ。しかし、サイパンは米国領なので、日本政府が「勝手に」サイパンを援助する事は出来ない。テニアン市長の提案は、日米安保の修正が前提だ。サイパンが戦前のような活気を取り戻すために、日本人の協力が期待されている。小代ゼミは以下を提案する。

- \* サイパンの戦跡を訪れる平和教育ツアーの企画し、サイパン観光の賑わいを取り戻し、歴史的な縁を再確認する。
- \* 本格的自立への手助け。例として、近年北マリアナ海域で発見されたうなぎ稚魚の人工養殖、
- \* トロピカル・フルーツやトロピカル・フラワーなど農業・漁業分野での技術援助、提携など。太陽光発電などの共同開発で、島をエコ先進地にする。

もう一度サイパンと手をつなごう

